

達成度指標
 A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上 C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%未満

1. 基本目標の目標値達成度

基本目標1. 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
創業支援事業に基づく新規創業件数	0件(平成26年)	5件(5年間)	12件(5年間)	A
新たな雇用者数	0人(平成26年)	40人(令和元年)	21人(令和元年)	C

基本目標2. 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(令和元年)	106人(令和元年)	A
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(令和元年)	1,719千人(令和元年)	A

基本目標3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	400件(5年間)	327件(5年間)	B
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(令和元年)	1.13(令和元年)	C

基本目標4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	実績値	達成度
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	385件(5年間)	537件(5年間)	A
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(令和元年)	100%(令和元年)	A

合計 A:5個 B:0個 C:3個 D:0個

2. 施策・事業のKPI達成度

基本目標	達成度A	達成度B	達成度C	達成度D
1. 安定した雇用を創出する 事業数:12 KPI数:14	7個(50%)	0個(0%)	5個(35.7%)	2個(14.3%)
2. 新しいひとの流れをつくる 事業数:7 KPI数:11	8個(72.7%)	0個(0%)	0個(0%)	3個(27.3%)
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる 事業数:17 KPI数:17	8個(47.1%)	2個(11.8%)	4個(23.5%)	3個(17.6%)
4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する 事業数:13 KPI数:12	8個(66.7%)	0個(0%)	1個(8.3%)	3個(25%)
合計 事業数:49 KPI数:54	31個(57.4%)	2個(3.7%)	10個(18.5%)	11個(20.4%)

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%以下

基本目標1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見
創業支援事業に基づく 新規創業件数	0件(平成26年)	5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	5	A	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により2件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延34人(実11人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
			実績値	0	4	3	3	2	12		
新たな雇用者数	0人(平成26年)	40人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	40	40	C	内訳 介護人材育成支援事業:0人、雇用創出事業:0人、看護学生修学資金貸与事業:21人 ・介護人材育成支援事業は、実績値もおおむね目標を達成する見込みであり、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた当該法人による積極的な取り組みにつながっている。 ・雇用創出事業は実績が無かった。 ・看護学生修学資金貸与事業は、学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く多くの学生が市立病院に就職した。
			実績値	5	0	27	22	21	21		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 産業の競争力強化										
1) 農作物のブランド化の推進										
クリーン農業推進事業	特栽米等の作付農家数 /5戸(平成26年)→20戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	20	20	C	特別栽培米の作付農家は昨年度より減少した。 当該補助制度を農業者へ周知し、特栽米作付農家の増加を図る。
		実績値	—	11	16	16	13	13		
2) 6次産業化の取り組みの推進										
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 /2戸(平成26年)→5戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	5	5	A	農業者へ、国・道の補助事業のほか、各種情報提供を行い、6次産業化の促進を図る。
		実績値	2	4	6	7	7	7		
3) 商工業振興策の実施										
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 /5件(5年間)	目標値	1	1	1	1	1	5	A	新規創業が2件あり、そのうち空き建築物を活用した新規開店が1件あったため。今後も本条例の周知の他、創業支援事業計画とも連動させ新規創業を促進する。
		実績値	4	6	2	2	1	15		
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 /5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	5	A	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により2件の創業が実現した。また、商工会議所による創業支援セミナーが開催され延34人(実11人)が参加した。今後とも関係団体が連携して創業希望者を支援する。
		実績値	0	4	3	3	2	12		
(2) 人材育成、雇用対策										
1) 農業の担い手の確保・育成										
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 /15ha(5年間)	目標値	0	0	5	5	5	15	A	平成29年度より国の補助要件が変更になり、農家にとって使いにくい補助となった。基盤整備の要望はあることから、取り組みやすい補助メニューの調査検討が必要。
		実績値	11.58	7.61	0	0	0	19.19		
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 /280ha(平成26年)→320ha(平成31年)	目標値	—	—	—	—	320	320	D	現在、水稲の防除(農薬散布等)は浦臼町の無人ヘリコプター防除の組織へ委託しているが難しくなってきた。今後、JAと連携し、水稲の防除を担う受託組織の育成について検討を進める。
		実績値	295	261	237	214	202	202		
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 /2人(5年間)	目標値	0	0	0	1	1	2	A	農業後継者(農家の子息等)の情報収集を進めるとともに、支援方法の検討をする。
		実績値	1	0	0	1	0	2		
2) 医療従事者の確保・育成										
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 /32人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	32	32	C	学資金返還免除制度の復活により進学希望者を除く多くの学生が当院に就職された。 今後の取り組みとしては、引き続き病院説明会などにおいて、学資金等の説明を行い安定確保に努める。
		実績値	—	—	24	19	21	21		

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

基本目標 1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価
創業支援事業に基づく 新規創業件数	0件(平成26年)	5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	5	A	総合評価: 目標値に比べ実績値は上回っているが、今後市内の空き店舗、空き地はますます増加することが見込まれることから、引き続き創業支援事業計画に基づき商工会議所・市内金融機関等と連携して実施していきたい。
			実績値	0	4	3	3	2	12		
新たな雇用者数	0人(平成26年)	40人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	40	40	C	総合評価: 介護人材育成支援事業:10人、雇用創出事業:1人、看護学生修学資金貸与事業:64人 ・介護人材育成支援事業は、目標値15人に対し実績値は10人であり、おおむね目標を達成しており、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた当該法人による積極的な取り組みにつながっていることから、所期の目的が果たされ有効な施策となっている。 ・雇用創出事業は、5年間で1人の雇用につながった。 ・看護学生修学資金貸与事業は、5年間で64人が砂川市立病院に就職し、医療職の人材確保につながっている。
			実績値	5	0	27	22	21	21		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価	今後の方向性
(1) 産業の競争力強化											
1) 農作物のブランド化の推進											
クリーン農業推進事業	特裁米等の作付農家数 ／5戸(平成26年)→20戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	20	20	C	総合評価: 補助の導入により、安心安全な米作りが促進されており、特に特別栽培米の「ゆめぴりか」では、最高金賞を受賞するなど高付加価値・高品質な米作りを推進できている。また、ブランド化にも大きく寄与している。	現状のまま継続
		実績値	—	11	16	16	13	13			
2) 6次産業化の取り組みの推進											
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 ／2戸(平成26年)→5戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	5	5	A	総合評価: 事業収支が折り合わないなど、6次産業化への取り組みが少ないが、若干ではあるが人数は増加しているため今後も取組体制の強化を図る。	現状のまま継続
		実績値	2	4	6	7	7	7			
3) 商工業振興策の実施											
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 ／5件(5年間)	目標値	1	1	1	1	1	5	A	総合評価: 目標値に比べ実績値は上回っているが、今後市内の空き店舗、空き地はますます増加することが見込まれることから、引き続き創業支援事業計画に基づき商工会議所・市内金融機関等と連携して実施していきたい。	現状のまま継続
		実績値	4	6	2	2	1	15			
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 ／5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	5	A	総合評価: 目標値に比べ実績値は上回っているが、今後市内の空き店舗、空き地はますます増加することが見込まれることから、引き続き創業支援事業計画に基づき商工会議所・市内金融機関等と連携して実施していきたい。	現状のまま継続
		実績値	0	4	3	3	2	12			
(2) 人材育成、雇用対策											
1) 農業の担い手の確保・育成											
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 ／15ha(5年間)	目標値	0	0	5	5	5	15	A	総合評価: 平成29年度より国の補助要件が変更になり、農家にとって使いにくい補助となった。基盤整備の要望はあることから、取り組みやすい補助メニューの調査検討が必要。	手段の見直し
		実績値	11.58	7.61	0	0	0	19.19			
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 ／280ha(平成26年)→320ha(平成31年)	目標値	—	—	—	—	320	320	D	総合評価: 高齢化や農業従事者不足により作業が困難となっているため、今後も受託組織の経営基盤の強化を図る。	現状のまま継続
		実績値	295	261	237	214	202	202			
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 ／2人(5年間)	目標値	0	0	0	1	1	2	A	総合評価: 現状市内に戻り親元で就農する方は少数のため、農業後継者(農家の子息等)の情報収集を進めるとともに、支援方法の検討をする。	現状のまま継続
		実績値	1	0	0	1	0	2			
2) 医療従事者の確保・育成											
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 ／32人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	32	32	C	総合評価: 学資金返還免除制度の復活により多くの学生が当院に就職している。不足の助産師についても助産師学校進学者への貸与新設により採用に至っており安定確保への効果が表れている	現状のまま継続
		実績値	—	—	24	19	21	21			

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%以下

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
3) 介護従事者の確保・育成										
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 /15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	C	1月末現在の実績は無いが、2人が介護資格を取得する見込であり、おおむね目標を達成する予定である。介護サービスの質の向上と人材育成・確保を目的に、事業所(社会福祉法人)の理解と積極的な取り組みがあったことから、今後も継続し介護人材の安定確保に努める。
		実績値	5	0	3	2	0	10		
4) 企業立地等の促進による就労の拡大										
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 /25人(5年間)	目標値	5	5	5	5	5	25	D	本年度、助成対象となる工場施設の増築が1件あったため、次年度に雇用に係る調査を行う。今後においても、事業内容の理解を深めるため、分かりやすいパンフレット作成に努め広く周知活動を行っていく。
		実績値	0	0	0	1	0	1		
5) ICTを活用した子どもの育成										
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 /319人(平成26年)→440人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	440	440	A	前年度比115人参加者数減少したが、目標値を上回る実績となった。今後、事業の質的向上を図りながら継続して取り組む
		実績値	425	526	886	1,255	1,140	1,140		
6) ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進										
ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの 推進による雇用創出事業 (平成28年度:ジョブスタート事業)	市内の就職人数 /450人(平成31年)	目標値	—	—	415	425	450	450	C	企業の人手不足は全国的な問題であり、砂川市も同様の現状にあることから、目標の達成には至っていない。長期的な取り組みが必要であることから、引き続き同様の取り組みを継続していく。
		実績値	—	—	367	368	238	238		
	地元高校から市内企業に就職した割合 /65.4%(平成31年)	目標値	—	—	30.4	45.4	65.4	65.4	C	市内就職者数は前年と比べると微増しているが、就職人数も増加しているため割合は減少している。引き続き同様の取組を継続していく。
		実績値	—	—	20.0	44.7	35.3	35.3		
	地元の参加企業数 /15社(平成31年)	目標値	—	—	—	—	15	15	A	前年程度の参加企業数は確保されている。引き続き、事業周知を行い参加企業の増加を目指す。
		実績値	—	17	35	43	42	42		

施策・事業KPI 達成度A:7個 達成度B:0個 達成度C:6個 達成度D:1個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価	今後の方向性
3) 介護従事者の確保・育成											
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 /15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	15	C	総合評価: 実績値もおおむね目標を達成しており、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた事業所(社会福祉法人)の積極的な取り組みにつながっていることから、継続実施とするが、現状においても介護人材の不足などが続いているため、今後さらなる補助の充実に向けて内容の見直しを図る必要がある。	手段の見直し
		実績値	5	0	3	2	0	10			
4) 企業立地等の促進による就労の拡大											
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 /25人(5年間)	目標値	5	5	5	5	5	25	D	総合評価: 助成対象となる施設の新設等はあったものの、市内居住の新規雇用につながっていないのが現状である。その背景には、家賃の高騰等住宅事情によるものと考えられる。今後も、ワークライフバランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業と合わせ事業を継続し、強化を図っていく。	現状のまま継続
		実績値	0	0	0	1	0	1			
5) ICTを活用した子どもの育成											
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 /319人(平成26年)→440人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	440	440	A	総合評価:重要業績評価指標の目標値を大きく上回っていることから、一定の成果を上げているものとする。	現状のまま継続
		実績値	425	526	886	1,255	1,140	1,140			
6) ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進											
ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業 (平成28年度:ジョブスタート事業)	市内の就職人数 /450人(平成31年)	目標値	—	—	415	425	450	450	C	総合評価: 滝川管内の有効求人倍率は穏やかに改善が進んでいるが、依然人手不足は続いている。研修会等の機会を提供し、働きやすい職場環境の推進に努め、人材定着を進めていく。	現状のまま継続
		実績値	—	—	367	368	238	238			
	地元高校から市内企業に就職した割合 /65.4%(平成31年)	目標値	—	—	30.4	45.4	65.4	65.4	C	総合評価: 事業開始以降、砂川高校からの市内企業への就職者数は増加傾向にあることから、一定程度の効果があると考え。引き続き同様の取組を継続していく。	
		実績値	—	—	20.0	44.7	35.3	35.3			
	地元の参加企業数 /15社(平成31年)	目標値	—	—	—	—	15	15	A	総合評価: 事業の認知度と事業効果は高まってきていることから、引き続き広い範囲で事業周知を続け、ニーズにあった事業を展開している。	
		実績値	—	17	35	43	42	42			

施策・事業KPI 達成度A:7個 達成度B:0個 達成度C:6個 達成度D:1個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	150	150	A	今年度の実績値は、転入・転出者数いずれも昨年度と比較して微減しており、転出超過もほぼ同様の傾向で推移した。
			実績値	111	57	47	107	106	106		
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1,342	1,342	A	雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ったことにより、年間を通して観光客が増え、観光入込客数が96千人増加となった。特にGW期間中(10連休)の観光客が全体的に増えた。
			実績値	1,234	1,209	1,413	1,623	1,719	1,719		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 移住の推進										
1) 移住定住の促進										
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通じた移住者数 /6人(5年間)	目標値	0	0	2	2	2	6	A	平成31/令和元年度のお試しハウス利用は延7組15人であったが、移住者は0人であった。就業情報の提供の他、市HPや、協力隊Fb等によりまち全般の幅広い情報発信をしており、引き続き情報提供の充実を図る。
		実績値	0	6	0	2	0	8		
農業体験事業	新規就農者数 /5人(5年間)	目標値	—	0	1	2	2	5	D	新規就農者の募集を行うとともに、関係機関との受入体制の強化を図る。
		実績値	—	0	2	0	0	2		
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加										
1) 観光振興の推進										
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 /254,000件(平成26年)→354,000件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	354,000	354,000	A	今年度も引き続き、7.6%の伸びがあり、目標値を達成することになった。要因としては、本やテレビなどにマスメディアで「すながわスイートロード」や砂川市自体を紹介されたことが大きい。また災害などの際もこまめに更新しており、市民や来砂している方に情報提供を怠っていないこともアクセス数の増に繋がった。今後も引き続きアクセシビリティ(使いやすさ)の水準を保持し、更新をこまめに行っていくなど基本的な管理も継続して行っていく。
		実績値	318,484	314,737	324,651	353,234	380,000	380,000		
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 /247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260	260	A	スマートインターチェンジ開設による利便性の向上や、雑誌・テレビなどマスメディアを活用した観光PRを推進したこと、まちなかを回遊する観光客が増加した。引き続き、「スイートロード」などまちなか観光施設の観光PRを充実させ、砂川の魅力の向上を図る。
		実績値	235	220	261	392	423	423		
地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業	ポータルサイト年間アクセス数 /19,500件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	19,500	19,500	A	観光マップに加え、雑誌・テレビなどマスメディアの活用により砂川の魅力発信を行ったことで、観光協会ホームページの閲覧件数が増加した。引き続き、観光協会と連携を図り、さらなる情報発信の充実やフリーWi-Fiの普及などを行い、観光客の誘客を図る。
		実績値	—	915	77,810	95,942	124,764	124,764		
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	まちなか観光施設入込客数 /247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260	260	A	スマートインターチェンジ開設による利便性向上や観光協会ホームページ、雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ってきたことで、まちなか観光施設の入込客数が増加した。引き続き、観光協会と連携し、効果的な情報発信などにより観光客の誘客を図る。
		実績値	—	220	261	392	423	423		
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	観光入込客数 /1,234千人(平成27年度)→1,342千人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	1,234	—	—	—	1,342	1,342	A	観光資源の充実や雑誌・テレビなどマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ったことにより、GW期間(10連休)を中心に年間を通して観光入込客数が増加した。今後は、これまでの情報発信に加え、SNSを活用したさらに効果的な観光PRを行い観光振興を図る。
		実績値	—	—	1,413	1,623	1,719	1,719		
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	スイートロード協議会主催事業参加人数 /1,335人(平成27年)→1,800人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	—	—	—	—	1,800	1,800	D	例年とおおむね同様の事業を計画どおり実施できたことに加え、スイートスタンプラリーの拡大など事業内容を見直し充実させたことで前年度を若干上回る参加人数であった。今後は、公式キャラクターの活用などにより「スイートロード」の知名度を高め、観光客の誘客を推進する。
		実績値	—	—	1,683	1,497	1,550	1,550		
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 /5,000件(5年間)[平成27・28年度:地域資源活用事業]	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	1,200	A	ふるさと納税全体の件数が昨年度に比べ大幅に増加したことにより「すながわスイーツ」の返礼品数が増えている。返礼品発送時には観光マップを合わせて送るなど観光PRも推進されていることから、引き続き、担当部署との連携を図る。
		実績値	1,235	874	719	1,496	2,490	6,814		
DMO加盟団体数 /10団体(平成31年)[平成27・28年度:着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業]	DMO加盟団体数 /10団体(平成31年)[平成27・28年度:着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業]	目標値	—	—	—	—	10	10	A	DMO設立に向け、マーケティング調査や商品券発行事業を行い、3年間の活動に基づいた専門家による事業評価を行ったが、今後のDMO設立は困難であるとして、本年度をもって協議会解散の見通しとなった。
		実績値	0	0	13	14	16	16		
(3) 高等学校の活性化										
1) 地元学校への進学促進										
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 /100人(平成27年)→120人(平成31年)	目標値	100	—	—	—	120	120	D	平成31年4月の入学者は中学校卒業者の減少、職業科高校への進学者の増加などにより、前年度を大きく下回った。中学生や保護者に砂川高校の特色を理解してもらえるよう周知に努め、支援を継続していく。
		実績値	100	88	112	112	78	78		

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:1個 達成度C:1個 達成度D:1個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	150	150	A	総合評価: 依然として転出超過ではあるものの、徐々に人口の社会減は収まりつつある。一方、冬期間でも転入者が転出者を上回る月もあるなど、人口減と共に就業、就学等の特徴的なライフイベント以外の理由と思われる異動も一定程度占める傾向にあり、社会増減の理由は、近年、より多様化しているといえる。
			実績値	111	57	47	107	106	106		
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1,342	1,342	A	総合評価: ハイウェイオアシス館のリニューアルや子どもの国の遊具新設に加え、観光マップ及びマスメディアを活用した効果的な観光PRを行ってきたことで、観光入込客数は平成29年度から増加している。また、スマートインターチェンジ開設による利便性の向上などにより、「スイートロード」などまちなか観光施設の入込客数も増加している。
			実績値	1,234	1,209	1,413	1,623	1,719	1,719		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価	今後の方向性
(1) 移住の推進											
1) 移住定住の促進											
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通しての移住者数 ／6人(5年間)	目標値	0	0	2	2	2	6	A	総合評価: 移住希望者のニーズに応えた丁寧な対応が目標値の達成につながったと考えられるが、成果がすぐに出る事業ではないため、今後も地道な取り組みが必要である。	現状のまま継続
		実績値	0	6	0	2	0	8			
農業体験事業	新規就農者数 ／5人(5年間)	目標値	—	0	1	2	2	5	D	総合評価: 未経験の就農希望者がいた場合、農業体験を行うことは重要なことであり、新規就農を推進するに当たり、必要な事業であるため情報発信等を実施していく。	手段の見直し
		実績値	—	0	2	0	0	2			
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加											
1) 観光振興の推進											
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 ／254,000件(平成26年)→354,000件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	354,000	354,000	A	総合評価: すながわスイートロードをはじめとした砂川の魅力をホームページをはじめ、さまざまなマスメディアを通じて発信することができたと考える。引き続きアクセシビリティの水準確保や市民、来砂している方にとっても魅力あふれるホームページとなるように引き続き、活発に情報発信をしていきたい。	現状のまま継続
		実績値	318,484	314,737	324,651	353,234	380,000	380,000			
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260	260	A	総合評価: スマートインターチェンジ開設による利便性の向上や、効果的な観光PRを行ってきたことで、平成29年度からまちなかを回遊する観光客が増加している。引き続き、観光入込客数の多いハイウェイオアシス館からまちなかへの誘客を図る。	現状のまま継続
		実績値	235	220	261	392	423	423			
地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業	ポータルサイト年間アクセス数 ／19,500件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	19,500	19,500	A	総合評価: 観光協会ホームページのリニューアル以降、年々閲覧件数が増加している。引き続き、観光協会と連携し、ホームページサイトの更新やフリーWi-Fiの普及など、観光客の誘客につながる効果的な態勢整備を図る。	現状のまま継続
		実績値	—	915	77,810	95,942	124,764	124,764			
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260	260	A	総合評価: スマートインターチェンジ開設による利便性の向上や、効果的な観光PRを行ってきたことで、平成29年度からまちなかを回遊する観光客が増加している。引き続き、観光協会と連携し、観光客の誘客を図る。	現状のまま継続
		実績値	—	220	261	392	423	423			
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	観光入込客数 ／1,234千人(平成27年度)→1,342千人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	1,234	—	—	—	1,342	1,342	A	総合評価: 観光資源の充実や効果的な観光PRを行ってきたことで、観光入込客数は平成29年度から増加している。今後は、関係団体や企業と連携し、より砂川の魅力を高めるとともに効果的な観光PRを行い、観光客の受入態勢の整備を図る。	手段の見直し
		実績値	—	—	1,413	1,623	1,719	1,719			
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	スイートロード協議会主催事業参加人数 ／1,335人(平成27年)→1,800人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	—	—	—	—	1,800	1,800	D	総合評価: 例年、効果的な事業を実施し「スイートロード」の知名度向上が図られているが、各事業の実施において、年々実働できる協議会員が減少してきている。今後は、事業の充実とともに、活動を推進するための人材確保が必要である。	手段の見直し
		実績値	—	—	1,683	1,497	1,550	1,550			
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 ／5,000件(5年間) [平成27・28年度:地域資源活用事業]	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	1,200	A	総合評価: 現在は11社の「ふるさと納税サイト」が活用されており、サイトの閲覧が広告宣伝となって「砂川スイーツ」の知名度向上につながっている。返礼品発送時には観光マップを合わせて送るなど観光PRも図られている。	手段の見直し
		実績値	1,235	874	719	1,496	2,490	6,814			
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	DMO加盟団体数 ／10団体(平成31年) [平成27・28年度:着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業]	目標値	—	—	—	—	10	10	A	総合評価: DMO設立には至らなかったが、今後も両市及び両観光協会が連携する良い機会となった。(マーケティング調査のみ継続)	手段の見直し
		実績値	0	0	13	14	16	16			
(3) 高等学校の活性化											
1) 地元学校への進学促進											
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 ／100人(平成27年)→120人(平成31年)	目標値	100	—	—	—	120	120	D	総合評価: 各種支援策を拡充することで、砂川高校の魅力が高まるよう努め、入学者が増加した年度もあったが、中学校卒業生が減少しており、厳しい結果となっている。高校の周知広報に努め、支援を継続していく。	手段の見直し
		実績値	100	88	112	112	78	78			

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:1個 達成度C:1個 達成度D:1個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%以下

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	400件(5年間)	目標値	80	80	80	80	80	400	B	大きな変動はなく、近年は同水準で推移している。(2月末)
			実績値	64	77	56	58	72	327		
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1.54	1.54	C	平成31年の出生数は76人で前年と比べ24人と大きく減少した。合計特殊出生率も減少した。単年での評価は難しいが、25～39歳女性の人口が71人減少していた。また、20～24歳女性の人口も8人減少していたが、出生数が6人増加していた。出生順位別の割合をみると、第1子の割合が増加している。
			実績値	1.17	1.20	1.14	1.40	1.13	1.13		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援										
1) 婚活支援の推進										
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 ／2事業(平成27年)→5事業(平成31年)	目標値	2	—	—	—	5	5	D	例年実施されているJCIに加え、YEGが野外イベントに合わせて新味ある手法で実施した。実施にあたっては団体の負担も大きいと、工夫や協力・連携により、参加者募集等の負担軽減を図った中で開催を促し、イベント実施につなげる。
		実績値	2	2	2	1	2	2		
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援										
1) 妊娠・出産への支援の実施										
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 ／800件(平成31年)	目標値	800	800	800	800	800	800	C	妊娠届出数が75名、転入者13名と減少し、使用延件数が減少した。妊婦の経済的負担を軽減する為、今後も継続する。
		実績値	498	631	717	631	514	514		
特定不妊治療費助成事業	助成を受けた者の満足度 ／70%(平成31年)	目標値	70	70	70	70	70	70	A	実績値は目標値を上回った。今年度申請者実3名にアンケートを行い、全員から回答を得、3名全員が満足と回答されていたが、さらなる助成拡大を望む声があった。次年度も継続しながら今後の検討課題としていく。
		実績値	85.7	80.0	25.0	87.5	100.0	100.0		
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 ／73%(平成26年)→90%(平成31年)	目標値	75	80	85	90	90	90	D	マザークラスへの参加は、初妊婦で23.5%(見込)となっており、就労者が多く全員の参加は難しいが、妊婦の学習の機会として、助成を継続し、妊婦訪問などの個別支援も継続していく。乳児全戸訪問は、母の長期入院により、98.7%の実施率となったが、父との電話や面接にて状況を確認し、必要な支援を行った。
		実績値	80.2	79.4	74.3	87.3	61.1	61.1		
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／30%(平成31年)	目標値	30	30	30	30	30	30	A	実績値(見込)は計画値を上回った。利用者は、6件と少数ではあるが、事前に登録しておける妊婦の安心につながっていることから、今後も周知を徹底し継続していく。
		実績値	29.9	39.5	35.0	61.4	35.1	35.1		
2) 子ども・子育て支援の充実										
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 ／90%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	90	90	A	延利用人数は239人と前年を上回った。しかし登録数は60人と減少した。各施設を通じ毎年案内はしており、世帯として何らかの保育が可能という方が増えたということも考えられる。当施設を必要とする保護者のニーズには応えることができていることから、引き続き安全安心な環境整備を図る。
		実績値	—	—	86.0	91.0	90.0	90.0		
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 ／750組(5年間)	目標値	150	150	150	150	150	750	C	今年度も計画値に満たなかったが、前年と同程度の参加を得ることはできた。各施設にチラシ等の掲示を依頼し、PRを図っており、1つの保育所では給食体験企画を実施した。今後も保育事業の理解と地域の保護者への支援を継続していく。
		実績値	98	90	38	93	90	409		
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 ／427人(平成26年)→900人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	900	900	C	前年よりも利用者が減少しているが、希望者には保育士不足等による利用制限をかけることなく受け入れができた。今年度から通常保育の入所児童が増加しており、次年度以降待機児童の受け皿的要素も大きくなることが予想されるが、保育士を確保した中で、様々なニーズに応えられる体制を整えていく。
		実績値	384	413	356	732	671	671		
学童保育事業	学童保育所持機児童数 ／0人(平成26年)→0人(平成31年)	目標値	0	—	—	—	0	0	A	今年度も待機児童を出さず運営ができた。しかしながら、指導員に退職を予定している者もあり、次年度の運営に支障がでないようにはしなければならない。また民営の北光学童保育所においては、指導員の高齢化等により運営が難しくなることが予想されることから、引き続き公営化や学校内開設について検討する必要がある。
		実績値	0	0	0	0	0	0		
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減										
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	225	A	昨年と比べ入所者は大幅に増加した。特に1歳児の入所希望が多く、施設面積の関係もあり2歳児入所を減少させて対応するなど入所させた。今後も低年齢での入所を希望する保護者が多い見込みであるため、待機児童が発生する可能性があり、対応を検討する必要がある。
		実績値	—	209	220	224	252	252		
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 ／75%(平成26年)→83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	83	C	【増減理由】通園人数が計画値よりも少なかったため 【今後の取組】令和元年10月からの幼児教育・保育料無償化に伴い本事業が廃止となるが、本事業対象幼稚園(未移行幼稚園)は、社会福祉課所管の施設等利用給付事業に移行されるため、保護者の経済的負担の軽減は引き続き支援される。
		実績値	78.1	90.1	89.0	88.7	81.0	81.0		
幼稚園保育料負担軽減補助事業	幼稚園在籍率 ／83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	83	B	実績値は目標値を上回っているものの、保育所や幼児教育施設を利用していない未就学児や病院等の事業所内保育所、認可外保育所等への入所者が増加したためか、昨年よりも下回った。今年度は10月から幼児教育・保育の無償化が開始されたため、4月分から9月分に係る保育料について、対象となる保護者の経済的負担軽減は図られた。
		実績値	—	—	89.0	88.7	84.6	84.6		

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかかなる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	400件(5年間)	目標値	80	80	80	80	80	400	B	総合評価: 平成22～26年の平均件数と比較すると、人口減等の影響で5年間の平均値は65.2件と6件減少している。
			実績値	64	77	56	58	72	327		
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1.54	1.54	C	総合評価: 出産可能な年齢の女性人口が年々減少してきており、出生数も減少してきているので、合計特殊出生率も減少していくと考えられる。
			実績値	1.17	1.20	1.14	1.40	1.13	1.13		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価	今後の方向性
(1) 若い世代の結婚支援											
1) 婚活支援の推進											
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 /2事業(平成27年)→5事業(平成31年)	目標値	2	—	—	—	5	5	D	総合評価: 目標には達していないが、継続実施している団体があり、共通認識のもと事業に取り組めた。また、参加者同士との今後の把握は難しいが、イベントの様子から事業の必要性は感じられるため、効率的で実効性の高い手法を見つけ継続する。	手段の見直し
		実績値	2	2	2	1	2	2			
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援											
1) 妊娠・出産への支援の実施											
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 /800件(平成31年)	目標値	800	800	800	800	800	800	C	総合評価: 妊娠届出数は減少しているが、妊婦健診にあわせて補助券も使用されており、妊婦の経済的負担の軽減となっている。定期的な妊婦健診の受診により、妊婦と胎児の健康管理につながっており、今後も同様に継続する。	現状のまま継続
		実績値	498	631	717	631	514	514			
特定不妊治療費助成事業	助成を受けた者の満足度 /70%(平成31年)	目標値	70	70	70	70	70	70	A	総合評価: 本事業により、経済的な負担軽減となるため、満足度は得られているが、砂川市の少子化対策のために、助成内容の拡大を含め検討を行う必要がある。	手段の見直し
		実績値	85.7	80.0	25.0	87.5	100.0	100.0			
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 /73%(平成26年)→90%(平成31年)	目標値	75	80	85	90	90	90	D	総合評価: 妊娠中の学習の機会としてマザークラスの参加費の助成を行っているが、他の妊婦との交流も持つことで育児の仲間となっていくことも考えられることから、助成を継続するとともに、訪問や相談などの個別支援も継続して行う。	現状のまま継続
		実績値	80.2	79.4	74.3	87.3	61.1	61.1			
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 /30%(平成31年)	目標値	30	30	30	30	30	30	A	総合評価: 妊婦が安心して出産できる環境整備、利用しやすい体制が整い、利用件数が例年継続してあることから、今後も継続実施していく。	現状のまま継続
		実績値	29.9	39.5	35.0	61.4	35.1	35.1			
2) 子ども・子育て支援の充実											
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 /90%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	90	90	A	総合評価: 当事業は保護者の勤務等の理由から病気の児童を家庭で保育できない場合のセーフティネットとして必要であり、必然的に利用する保護者の満足度は高い。またニーズに応える形で昼食の提供を開始しており、引き続き安全安心な環境を整備していく。	現状のまま継続
		実績値	—	—	86.0	91.0	90.0	90.0			
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 /750組(5年間)	目標値	150	150	150	150	150	750	C	総合評価: 保育所計30回×5組としている目標値に対する達成率は低い。しかしながら、地域に開かれた子育て支援として専門的機能を積極的に提供していく必要があり、保護者が参加しやすい環境づくりや体験活動など、マンネリ化を防ぎながら、継続していく。	現状のまま継続
		実績値	98	90	38	93	90	409			
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 /427人(平成26年)→900人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	900	900	C	総合評価: 通常保育との兼ね合いで保育士不足による利用制限をかけた年度もあったが、多様化するニーズに応えるため、対象年齢の引き下げや短時間設定などを導入し、利便性の向上に努めてきたことで、目標値に届かないまでも近年利用者は多い。今後も様々な理由で一時的に保育を必要とする児童を適切に保育していく。	現状のまま継続
		実績値	384	413	356	732	671	671			
学童保育事業	学童保育所持機児童数 /0人(平成26年)→0人(平成31年)	目標値	0	—	—	—	0	0	A	総合評価: これまで待機児童を出さなく運営ができており、保護者のニーズを満たしていると考えられる。今後も同様の運営を継続するが、指導員不足が全学童保育所共通の課題としてあり、特に北光学童保育所においては、高齢化も重なり年々運営が厳しくなっているところである。唯一学校外の老人憩の家で開設していることもあり、学校内開設や公営化等検討が必要である。	現状のまま継続
		実績値	0	0	0	0	0	0			
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減											
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 /205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	225	A	総合評価: 多子世帯の経済的負担の軽減が図られ、入所者は増加している。令和元年10月より幼児教育・保育の無償化が開始され、軽減対象者は0～2歳児の課税世帯に限定されたが、引き続き支援していく。	現状のまま継続
		実績値	—	209	220	224	252	252			
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 /75%(平成26年)→83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	83	C	総合評価: 国が実施する同補助事業に準拠するとともに、市独自でのすべての多子世帯に対し年齢制限を撤廃するなど、保護者への負担軽減、支援が図られた。令和元年10月からの幼児教育・保育料無償化に伴い本事業が廃止となるが、本事業対象幼稚園(未移行幼稚園)は、社会福祉課所管の施設等利用給付事業に移行されるため、保護者の経済的負担の軽減は引き続き支援される。	廃止
		実績値	78.1	90.1	89.0	88.7	81.0	81.0			
幼稚園保育料負担軽減補助事業	幼稚園在籍率 /83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	83	B	総合評価: 対象となる子育て世帯の経済的負担軽減は図られた。令和元年10月より幼児教育・保育の無償化が開始され、満3歳児～5歳児のすべての保育料が無償化となったため本事業は廃止となる。	廃止
		実績値	—	—	89.0	88.7	84.6	84.6			

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A: 目標値・KPIを達成している B: 達成度80%以上
C: 達成度50%以上80%未満 D: 達成度50%以下

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	225	A	昨年と比べ入所者は大幅に増加した。特に1歳児の入所希望が多く、施設面積の関係もあり2歳児入所を減少させて対応するなどで入所させた。今後も低年齢での入所を希望する保護者が多い見込みであるため、待機児童が発生する可能性があり、対応を検討する必要がある。
		実績値	208	209	220	224	252	252		
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 ／189,000枚(5年間)	目標値	39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	189,000	B	計画値と実績値の差の主な理由は、出生数・転入者数が想定よりも少なかったことによるもの。未申請世帯もあることから、社会福祉課と連携し、児童手当現況届提出時に申請させるなど、対応を継続する。
		実績値	38,530	36,510	34,170	33,140	35,350	177,700		
乳児おむつ無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→60%(平成31年)	目標値	—	—	—	60	60	60	A	支給枚数は今年度の12月末までに支給した枚数で、換金枚数についても今年度12月末日までに使用された枚数で算出しているため、昨年度未使用分も換金枚数に含まれているため100%を超える利用率となっている。子育て世帯の経済的な負担軽減になっており、アンケートにおいても良い評価を受けているため、今後も継続する。
		実績値	—	—	—	70.6	109.0	109.0		
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) ／0%(平成29年)→80%(平成31年)	目標値	—	—	—	70	80	80	D	実績値は19.84%と目標と乖離しているが、昨年度より増加している。またクーポン券を使用した世帯は471世帯(配付世帯数816世帯)で、57.7%と半数以上の世帯が利用しており、世帯の使用率も増加している。事業の目的である親子で一緒に過ごす機会づくりの一助となっていると考えられる。事業を開始して2年を経過し、周知も進んできている事業であるので、事業を継続していく中で、対象者や配付枚数の見直しについても検討していく。
		実績値	—	—	—	19.3	19.8	19.8		
インフルエンザ 任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 ／29%(平成26年)→50%(平成31年)	目標値	30	35	40	45	50	50	A	昨年度に引き続き自己負担1,000円で実施し、目標値を上回る受診率を維持できている。今後も継続していく。
		実績値	48.4	49.0	49.0	52.1	55.9	55.9		

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:3個 達成度C:4個 達成度D:2個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価	今後の方向性
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
保育料軽減事業	保育所入所者数 /205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	225	A	総合評価: 経済的負担の軽減が図られ、入所者は増加している。令和元年10月より幼児教育・保育の無償化が開始され、軽減対象者は0～2歳児の課税世帯に限定されたが、引き続き支援していく。	現状のまま継続
		実績値	208	209	220	224	252	252			
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 /189,000枚(5年間)	目標値	39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	189,000	B	総合評価: この事業については対象世帯から概ね好評であり、子育て支援という目的は達成されているもの と考える。	現状のまま継続
		実績値	38,530	36,510	34,170	33,140	35,350	177,700			
乳児おむつ無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) /0%(平成29年)→60%(平成31年)	目標値	—	—	—	60	60	60	A	総合評価: 利用率も高く、アンケートによる評価も良い事業である。しかし、使用できる期間の延長という声も あることから、今後は支給枚数や支給期間、使用期間についても検証を行いながら、事業を継続し ていく。	現状のまま継続
		実績値	—	—	—	70.6	109.0	109.0			
ふしぎの森利用料無料クーポン券支給事業	無料クーポン券利用率(%) /0%(平成29年)→80%(平成31年)	目標値	—	—	—	70	80	80	D	総合評価: 実績値と目標値は乖離しているが、世帯の使用率は半数を超えており、事業の目的である親子で 一緒に過ごす機会づくりの一助になっていると考えられるため、事業は今後も継続していくことと し、評価指標については世帯の使用率にするなど、事業の目的に合うような指標に見直しを行うこ ととしたい。	現状のまま継続
		実績値	—	—	—	19.3	19.8	19.8			
インフルエンザ 任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 /29%(平成26年)→50%(平成31年)	目標値	30	35	40	45	50	50	A	総合評価: 実績値は年々上昇を続け、子どものインフルエンザワクチンの接種が定着してきている。今後も助 成を行い、子どもの健康管理の一助とする。	現状のまま継続
		実績値	48.4	49.0	49.0	52.1	55.9	55.9			

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:3個 達成度C:4個 達成度D:2個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度見込	5年間の実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値に対する所見
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	385件(5年間)	目標値	77	77	77	77	77	385	A	制度の見直し・拡充や消費税増税前の需要もあり、申請件数が大きく増加した。持ち家の取得・リフォームに対する支援を行うことで、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。
			実績値	95	92	81	120	149	537		
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	100	A	住宅供給4戸に対し4戸入居。(4世帯10人)
			実績値	—	100	100	75	100	100		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度見込	5年間の実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保										
1) 医療等の充実										
中空知医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／6自治体病院(平成31年)	目標値	6	0	0	0	0	6	A	計画値と実績値の増減なし。平成28年7月に稼働し、平成29年度以降、自治体病院以外の医療機関等との連携及び各自治体での地域包括ケアネットワークシステム構築(連携)を図る。
		実績値	6	0	0	0	0	6		
砂川市地域包括ケアネットワーク事業(情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／41,000件(5年間)	目標値	1,000	10,000	10,000	10,000	10,000	41,000	A	開始から5年半が経過し、事業の浸透が図られたことにより、情報提供の同意件数が順調に推移している。また、医療機関や介護事業所等、関係機関によるアクセス数も順調に増えており、在宅医療・介護連携の推進が図られている。今後も在宅医療・介護の推進を図るため本システムの活用を継続する。
		実績値	469	11,107	15,745	17,845	17,914	63,080		
2) 健康維持・増進の推進										
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(平成31年)	目標値	34	42	42	45	45	45	C	実績値は計画値には到達しなかったが、がん検診計画検診は勧奨方法を工夫し、また国保特定健診では地道な訪問勧奨を重ね、受診率が上がったことで、30年度の実績値を上回った。乳児健診の受診率は変わりなくほぼ100%を維持している。がん検診、国保特定健診はさらなる受診率向上にむけて取り組んでいく。(30年度確定の実績値32.8%)
		実績値	36.3	36.4	32.2	31.5	38.4	38.4		
3) 高齢者等の在宅生活の支援										
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／660件(5年間)	目標値	132	132	132	132	132	660	D	本年度は記録的な少雪となったことにより、1月末現在において相談はあるが申請実績無しとなったが、事業は高齢者の冬期間の安心した生活確保と事故防止に効果があると判断していることから、継続実施とする。
		実績値	52	8	85	36	0	181		
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／375世帯(5年間)	目標値	100	100	59	58	58	375	A	利用者の死亡や転出などにより、前年度の利用件数より減少しているが、事業は高齢者の冬期間の安心した生活の確保につながっているため、今後も高齢者の冬期間の在宅支援として継続する。
		実績値	95	92	85	91	79	442		
4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討										
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(平成31年)	目標値	—	—	—	—	2	2	D	計画値と実績値の増減なし。砂川駅にエレベーター設置に向けてJRとの協議を進めながら計画案の具体化に向け検討中。また、待合室については元年7月25日供用開始した。
		実績値	0	0	0	0	0	0		
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化										
1) 良質な住宅ストックの確保										
まちなか住まいる等住宅促進助成事業	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／175件(5年間)	目標値	35	35	35	35	35	175	A	申請件数の増加。持ち家の取得促進と良質な住宅の確保を図り、誰もが安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。
		実績値	50	43	35	49	52	229		
永く住まいる住宅改修助成事業	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／210件(5年間)	目標値	42	42	42	42	42	210	A	制度の見直し・拡充や消費税増税前の需要もあり、申請件数が増加した。リフォーム工事への支援を行い、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。
		実績値	45	49	46	71	97	308		
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／20件(5年間)	目標値	0	5	5	5	5	20	A	補助金制度のPRを継続して行ったことで広く周知が図られたことから情報提供件数が目標値よりも増加した。引き続き、空き家所有者への意向調査や補助金制度のPRを行い、空き家の利活用を促進する。
		実績値	0	11	14	28	23	76		
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	100	A	住宅供給4戸に対して全戸入居中、(4世帯10人)新たな供給計画はなく、適切な維持管理を行う。
		実績値	—	100	100	75.0	100.0	100.0		

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度見込	5年間の実績見込	達成度	5年間の総合評価
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	385件(5年間)	目標値	77	77	77	77	77	385	A	総合評価: 各年度とも目標値を上回る実績となっており、平成30年度以降は、制度の見直し・拡充を図ったことと、交付件数が大きく増加した状況となっていることから、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。
			実績値	95	92	81	120	149	537		
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	100	A	総合評価: 平成28年度から市外からの入居者を受け入れており、移住定住を目的とした公的賃貸住宅を供給している。
			実績値	—	100	100	75	100	100		

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度見込	5年間の実績見込	達成度	5年間の総合評価	今後の方向性
(1) 安心なくらしの確保											
1) 医療等の充実											
中支医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／8自治体病院(平成31年)	目標値	6	0	0	0	0	6	A	総合評価: ネットワークシステムを利用することにより、紹介・逆紹介時や救急搬送時に迅速に的確な情報を収集することが可能になった。 指標を連携した医療機関等に見直す	手段の見直し
		実績値	6	0	0	0	0	6			
砂川市地域包括ケアネットワーク事業 (情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／41,000件(5年間)	目標値	1,000	10,000	10,000	10,000	10,000	41,000	A	総合評価: 指標の実績値が目標を上回っており、在宅医療・介護連携の推進が図られていることから、継続実施とする。しかし、事業所により情報のアクセス件数が大きく異なることから、実績が少ない事業所が多く利用するよう取り組みを進める必要がある。	現状のまま継続
		実績値	469	11,107	15,745	17,845	17,914	63,080			
2) 健康維持・増進の推進											
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(平成31年)	目標値	34	42	42	45	45	45	C	総合評価: 健康管理システムにより計画検診対象者を明確にし、勧奨を行うことができた。乳幼児健診はほぼ100%で推移し、未受診者に対する確認も実施できている。がん検診は勧奨方法を変えることで計画検診の受診は増えるので、今後も引き続き勧奨方法や実施体制について工夫していく。国保特定健診は計画に沿って受診率を上げているが最終目標である60%到達とそれを維持するための対策を進めていく必要がある。	手段の見直し
		実績値	36.3	36.4	32.2	31.5	38.4	38.4			
3) 高齢者等の在宅生活の支援											
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／660件(5年間)	目標値	132	132	132	132	132	660	D	総合評価: 27年度から開始した事業であるため周知が不十分であったことや、降雪量が想定以上に少なかったため利用が伸びなかったことから、指標の実績が目標を大きく下回ったが、高齢者の危険な作業による事故の防止と安心な在宅生活の確保に繋がっているため、今後も継続実施とする。	現状のまま継続
		実績値	52	8	85	36	0	181			
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／375世帯(5年間)	目標値	100	100	59	58	58	375	A	総合評価: 指標の利用世帯数が目標を上回っており、今後も自力で除雪が困難な高齢者の増加が見込まれるため、継続実施するが、除雪業務の担い手の確保が課題となっている。	現状のまま継続
		実績値	95	92	85	91	79	442			
4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討											
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(平成31年)	目標値	—	—	—	—	2	2	D	総合評価: エレベーター設置計画の提案を行ったが、具体化については当分先となる見込みとされたことから、並行して新たな手法を検討し、引き続きJRと協議を実施する。	現状のまま継続
		実績値	0	0	0	0	0	0			
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化											
1) 良質な住宅ストックの確保											
まちなか住まいる等住宅促進助成事業	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／175件(5年間)	目標値	35	35	35	35	35	175	A	総合評価: 各年度において、平成29年度以外は目標値を上回った実績であり、持ち家の取得促進と良質な住宅の確保を図り、誰もが安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。今後も、制度の拡充・見直しを図りながら事業の継続が必要である。	現状のまま継続
		実績値	50	43	35	49	52	229			
永く住まいる住宅改修助成事業	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／210件(5年間)	目標値	42	42	42	42	42	210	A	総合評価: 各年度において目標値を上回った実績であり、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。今後も、制度の拡充・見直しを図りながら事業の継続が必要である。	現状のまま継続
		実績値	45	49	46	71	97	308			
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／20件(5年間)	目標値	0	5	5	5	5	20	A	総合評価: 住宅相談窓口の開設や協議会加入の宅建業者との連携、補助金制度のPRを行い、目標値を大きく上回ることができた。 今後も制度の周知を積極的に図りながら事業を継続し、空き家の利活用を促進する。	現状のまま継続
		実績値	0	11	14	28	23	76			
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	100	A	総合評価: 平成28年度から、市外からの移住者を受け入れており、今後も住宅の適切な維持管理を行う。	現状のまま継続
		実績値	—	100	100	75.0	100.0	100.0			

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	平成31/令和元年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成										
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施										
砂川版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討	連携自治体数 ／3自治体(平成31年)	目標値	—	—	—	—	3	3		事業自体が情報収集の段階であり、具体的な事業に至っていない他、当初想定していた近隣市町の連携も、他市で先行して実施しており連携に至っていない。
		実績値	0	0	0	0	0	0	D	
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	ワンストップ窓口を通じての移住者数 ／6人(5年間)	目標値	—	0	2	2	2	6		昨年からの地元学生を対象とした企業説明会の実施であるが、砂川高校から48名が参加しているなど地元企業を知る機会となっている。当事業を通じた移住者は確認できていないが、今後も広域連携事業として圏域の就業情報等の発信を引き続き取り組む。
		実績値	—	6	0	2	0	8	A	
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保										
1) 市民が主体的に地域づくりに 参画することができる環境・仕組みづくり										

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:1個 達成度C:0個 達成度D:3個
 施策・事業KPI計 達成度A:31個 達成度B:5個 達成度C:11個 達成度D:7個

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

A:目標値・KPIを達成している B:達成度80%以上
C:達成度50%以上80%未満 D:達成度50%以下

施策名・事業名	重要業績評価指標 (KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31/元年度 見込	5年間の 実績見込	達成度	5年間の総合評価	今後の方向性
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成											
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施											
砂川版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討	連携自治体数 /3自治体(平成31年)	目標値	—	—	—	—	3	3		総合評価: 実施に向けて情報収集や検討を進めてきたが、他市町と連携しての事業展開、市単独での事業展開いずれも困難である。	廃止
		実績値	0	0	0	0	0	0	D		
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	ワンストップ窓口を通じての移住者数 /6人(5年間)	目標値	—	0	2	2	2	6		総合評価: 現在は、合同企業説明会の実施であるが、H31アンケート結果では、参加生徒・企業の評判は高く、また、約3割の生徒が就職先を決めていない状況での参加など、成果を上げられる可能性の高い事業であり、継続する必要がある。	現状のまま継続
		実績値	—	6	0	2	0	8	A		
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保											
1) 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり											

施策・事業KPI 達成度A:8個 達成度B:1個 達成度C:0個 達成度D:3個

施策・事業KPI計 達成度A:31個 達成度B:5個 達成度C:11個 達成度D:7個